

総合車両製作所による輪軸組立作業における数値の差し替え
および京王電鉄における点検の結果について

京王電鉄株式会社（以下「当社」）は、当社が鉄道車両の新車製造を発注している株式会社総合車両製作所（以下「J-TREC」）から、9月27日に、新車製造時の輪軸組立作業において数値の差し替えがあった旨の申し出を受けました。当社はJ-TRECからの申し出を受けて確認した結果、以下のことが判明いたしましたのでお知らせいたします。なお、当社はこのことを受けて必要な措置を行い、車両運行の安全は確保されております。当社線をご利用のお客様をはじめ、関係の皆様にご心配をおかけしましたことを深くお詫びいたします。詳細は下記のとおりです。

記

1. 経緯

9月27日に、J-TRECから「2013年以降、当社に納入した輪軸について、車輪に車軸を圧入する作業において、圧入力を行う機械から出力されたデータを改ざんし、納入していた」との報告がありました。なお、当社は圧入力値が目安値内に収まっているデータを同社より受領しておりました。

2. 点検の結果

J-TRECからの報告を受け、当社は差し替えが行われる前の圧入力値のデータをJ-TRECから受領し、点検したところ、目安値を逸脱しているものがあることを確認しました。また、圧入力値データが確認できないものがあることも判明しました。

(1) 点検対象輪軸 308本

(2) 点検結果

- ①圧入力値が目安値を下回っていたもの 247本
(そのうち、現在運行しているもの 161本)
- ②圧入力値データが確認できないもの 3本

3. 当社の対応

圧入力値が目安値を下回っていたもの、圧入力値データが確認できないものについて、以下のとおり安全を確保し、運行しております。

(1) 圧入力値が目安値を下回っていたもの

車輪の内面距離（バックゲージ）の再測定を行い、異常がないことを確認しております。

(2) 圧入力値データが確認できないもの

車輪の内面距離（バックゲージ）の再測定を行うとともに、緊急の超音波探傷検査を行い、傷がないこと、異常がないことを確認しております。

4. 今後の対応

- (1) 目安値を逸脱した輪軸および圧入力値データが確認できない輪軸は、念のため順次交換を実施します。
- (2) 目安値を逸脱している輪軸について、車輪と車軸の間に印を施し、異常がないことを10日毎に行う検査（列車検査）にて確認します。
- (3) J-TRECに対し、事実究明と再発防止を求めてまいります。